

######

◆夏期授業一覧

表中の数字は時間帯を表します

22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月	8/1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木	11 金	
休校日		中1A日程 19:00~21:30					休校日								休校日						中3 数学B 9:00~14:00 夏期 英語B14:20~18:40 特訓 英語A9:00~14:00 数学A14:20~18:40
		中1B日程 19:00~21:30																			
		中2 19:00~21:30							中2 19:00~21:30												
		中3 3科 14:10~17:45 5科 13:00~17:45							中3 3科 14:10~17:45 5科 13:00~17:45												
12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木	9/1 金	
						休校日		中 1 19:00~21:40					休校日		中1 19:00~21:40					通常授業開始	
								中 2 19:00~21:40							中2 19:00~21:40						
								中3 3科 14:10~17:45 5科 13:00~17:45							中3 3科 14:10~17:45 5科 13:00~17:45						

[申し込み方法・費用のご納入]

夏期講習会及び中3夏期集中特訓は、別途「講習会申込書」に必要事項をご記入の上、上記費用と共に事務までお申し込み下さい。

中学1年生

中学2年生

前期講習

英語・数学の2教科に的をしぼって 集中して勉強します

この講習会では、英語・数学を集中して指導していきます。英国数を時間割に並べて学習する仕方ではなく、科目をしぼって一定期間集中して勉強することは、夏休みだからこそ可能で、非常に効果的であると考えます。中1・中2で英語の成績を上げるのに必要なことは、豊富な反復演習です。今講習では、一回毎に設定したテーマを完全に理解し、必要なトレーニング量を消化するまで指導していきます。

		英 語	数 学
1 年 生	【全5日間】	Be 動詞・一般動詞・複数形・三単現を中心に1学期の学習内容の復習を行う。5日間の集中特訓で豊富な演習量をこなし、是非2学期以降の成績の向上を目指したい。	正負の数・文字式・方程式をテーマに基礎的な計算力（正負の数・文字式・方程式）を錬成する。
2 年 生	【全8日間】	中1の重要項目の復習・中2範囲の「過去形」「未来形」「助動詞」「不定詞」をテーマに8日間の集中特訓という形で豊富な演習量をこなし、確固たる実力を養成したい。高校入試の約80%が中2までの範囲から出題される以上、今をおろそかにして先に進むことはできない。	一次方程式・連立方程式等の基礎計算力を錬成し、関数（比例・反比例を含む）や方程式の文章題、平面図形の基礎をテーマに理解と演習を積み上げる。1題でも多く解くことによって、基礎問題は、条件反射的に解法がうかぶといったところまでを目標としたい。

後期
8月期授業

8月分の授業を集中して実施します。夏期講習で既習範囲の復習をした上で、この後期の授業では、主に通常授業で使用しているテキストを用いて、2学期新出範囲の予習を行うこととなります。（学年や科目によっては前後期を通じて一貫したテーマを指導する場合があります。）

		英 語	数 学	国 語
1 年 生	【全8日間】	新出範囲の予習 形容詞・副詞・命令文	新出範囲の予習 1次方程式・関数	説明文、論説文の読解・作文演習・古文の基礎知識
2 年 生	【全10日間】	新出範囲の予習 動名詞・形容詞・副詞・比較	新出範囲の予習 平面図形の基礎	説明文、論説文の読解・作文演習・古文の基礎知識

中 学 3 年 生

前期講習

目標意識を持って頑張ろう！！

この講習会では、中1・中2の全範囲を徹底的に復習しましょう。まとめてたっぶりできるのは、この夏が最後です。高校入試では、英語は中2までの範囲から80%が出題されるのです。数学や国語は分野どうしが融合されて出題されるので、%では表せませんが、中1・中2の範囲があらゆる問題のベースになっていることは確かです。学校では一通りやってきたでしょうが、それだけでは、入試問題が解けるレベルになるには、そして高校に入っても通用する実力をつけるには、理解もトレーニングも全く足りないはずです。この前期講習では、塾のテキストを中心に一つ一つの項目について、改めて深く理解し、休む間もなく演習をするといった気持で臨んで下さい。

中 3 受 験 生	英 語		数 学	国 語
	基礎・中級	中2までの復習を十分ふまえ、中学全範囲の文法総復習を行う。入試に直結する演習と解説をしていく。	1・2年範囲の数学を項目別（計算・文章題・関数・図形）に演習解説し、弱点がないようにする。豊富な演習量をこなしたい。	各クラスのレベルに合わせた入試問題の読解演習により、実践的な解法技術を習得させたい。また、知識分野についても「入試によく出る漢字」「文法の総まとめ」「文学史」などの講義と演習を行う。
	上級	中学範囲英文法の総チェック、及び私立上位校に必要な高校範囲まで講義を行う。	同上（問題のレベル・要求水準が異なります。）	
	理科	今まで習った全範囲について、日頃の演習量の不足を補いたい。特に、第一分野全般について総合的な実力をつけるように理解と演習を積み上げていく。		
	社会	講習前後期を通じて、歴史分野の講義を行う。特に、中世、近世、近代の政治の特色を中心に、歴史の流れがつかめるように講義を行う、都立レベルの問題で、歴史はこれでも何が出題されてもOKとなるようにしたい。		

※理科・社会科は都立高校入試での得点力を向上するという目的、レベルで指導します。秋口以降あわてることなく、都立受験希望者で演習量や理解が不足している生徒は、受講するようにして下さい。

中期 集中特訓

— 受験生のみ対象 —

苦手科目克服の貴重な最後のチャンス 英数1日9時間の4日間集中特訓

中3受験生のみを対象とする夏期集中特訓授業は、学習を「しぼりこむ」ことにより、豊富な演習量を積み上げ、実力をつけることを目的とします。楽をして身につけたものは、はがれるのも早いはずです。間断なく問題を解き、学習の厳しさやり遂げた後の爽快感も味わってほしいと思います。

	基礎レベル	上級レベル
数 学	1・2年範囲の重要項目（1次関数の応用・相似・立体図形等）の解き方をマスターしていきます。	
英 語	1・2年範囲の英文法の完全征服	英作文演習。重要構文の英作文を通じた、英文の骨格の理解、文法の総まとめを行います。

中 学 3 年 生

後期 8月期授業

8月分の授業を集中して実施します。夏期講習で既習範囲の復習をした上で、この後期の授業では、主に通常授業で使用しているテキストを用いて、2学期新出範囲の予習を行うことになります。(学年や科目によっては前後期を通じて一貫したテーマを指導する場合があります。)塾生にとっては、8月の通常授業の扱いになりますが、平常月と授業回数・費用は異なる場合があります。

	英語	数学	国語
中3受験生	前期からの内容を継続する。 クラスによっては長文読解 演習も行う。	新出範囲の予習 — 2次関数	入試問題のテスト演習。 クラスレベルに合わせて 実際の入試問題の解き方を 指導していく。
	理科・社会	前期からの内容を継続する。	

夏期講習 の注意事項

◆講習会を受講し、9月中に入塾をされた場合は、授業部から一部減額をいたします。(詳細はお問い合わせ下さい。)

◆夏期講習期間中で、学校行事や病気等やむを得ない理由で欠席となる場合は、別途日時を調整して補習等で対応します。数日の欠席の場合は、お早めにご相談下さい。

◆p. 1 表中の時間は、授業の開始時間です。5分前には来塾して下さい。
(持ち物は申し込みの際にお伝えしています。)

◆**中3理科・社会科**は都立高校入試での得点力を向上する目的、レベルにて指導します。
秋口以降あわてることのないように、**都立高校志望者**で理解や演習量が不足している
塾生は必ず選択受講するようにして下さい。

◆**中3夏期集中特訓**で午前中の授業から受講する場合は昼食の時間があります。お弁当等、
食事ができる用意をしてきて下さい。

◆この夏、クラス以外で弱点補強などのために**個人指導**を希望される場合は、お早めに
その旨をご相談下さい。

夏の学習 の留意点

40日間の夏休み。体と心を解放し、リフレッシュするときでもあり、学習面では
平素不足しがちの量をたっぷりと仕込むことも、勉強のひずみを調整することも
可能な、絶好の機会でしょう。以下には、夏の学習についてのいくつかの
アドバイスをいたします。

◆学校の宿題はできるだけ早めに終わらせる、または宿題遂行の合理的なスケジュールを
立てましょう。(特に中3生は講習前までに終わらせられるものは片づけてしまいましょ
う。)

◆塾がある期間は、その授業時間に合わせて一日の生活を考えて下さい。
10日間(または8日間)の狭間の1日は、ゆっくり休み、様々な形でストレスを
発散して下さい。メリハリのある充実した夏休みが過ごせるように工夫しましょう。

◆先生の指示にしたがって行う予習や復習は、できるだけ丁寧にやること。特に、前期の
講習会では復習を行うので、教科書や参考書を座右に置き、予習や復習の際に見返して
おくように、自分で勉強をふくらませること。夏休みはそうようにじっくり取り組める
最後の大きな機会であるということを認識して下さい。